

## ALL JAPAN DIRTTRIAL CHAMPIONSIP 2016 REPORT

開催日時 2016年4月16日(土)～17日(日)  
 開催場所 スピードパーク恋の浦  
 大会名称 2016年JAF全日本ダートトライアル選手権第2戦 RASCAL SPRING TRIAL IN KYUSYU  
 参加台数 117台(内SA2クラス20台)  
 順位 SA2 準優勝 シリーズランキング 1位 35pt

### 絶景の玄界灘を望む日本最南端のダートトライアルコース

全日本ダートトライアル第2戦が開催されるスピードパーク恋の浦は雄大な玄界灘を望む日本最南端のダートトライアルコースである。コースは山を切り崩して作られた形状で粘土質の路面は雨が降ると非常に滑りやすいコンディションになるという特徴がある。4月14日に発生した九州地方の地震災害により開催が危ぶまれたが、行政及び主催者の努力により開催することになった。



#### 【HEAT 1】

TIME 1'23" 312 順位 2位 DIREZZA 74R 205/65R15

前日夜から降り続いた雨によりコース全域にわたりスリッピーなコンディションとなった。しかし、天気予報は好転方向なため実質 HEAT2 での勝負になると予想されていた。このようなスリッピーな路面コンディションで絶大な威力を発揮する DIREZZA 74R を装着してトライし、昨年、恋の浦ラウンドで優勝した大西選手に対し 0.03 秒という僅差の 2 位でフィニッシュ。HEAT 2 に向け確かな手ごたえを感じることができた。



#### 【HEAT 2】

TIME 1'15" 698 順位 2位 DIREZZA 87R 205/65R15

スリッピーだった路面コンディションも一部を残しドライ路面になり、やはり HEAT 2 でのタイムが今回の勝敗を決める。コースのポイントによって路面コンディションが変わるためタイヤチョイスが非常に難しい状況となったが、硬質から超硬質路面まで対応できる DIREZZA 87R をチョイスしてアタック。ミスのない完璧な走りでもフィニッシュしたが、好調を維持した大西選手に 0.3 秒及ばず 2 位で終えた。



#### 【Technical Report】

今回は、当日朝まで降り続いた雨によって路面コンディション悪化が懸念されたため、主催者がコースを重複して通らないショートコースの設定。コーナーリングスピードが速い WRX STI にとっては、コーナーが少ないコース設定はライバルのランサーエボリューションに対して不利に働く結果となってしまった。しかし、このコースを得意としている大西選手に対し互角の戦いができたことは、チーム、マシンのポテンシャルはトップレベルにあることを証明することができた。また、シリーズチャンピオン獲得に向け確かな手ごたえを感じることができた。















